

2020年度 学校自己評価システムシート

(秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校)

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする
重点目標	1 自主学習習慣を身に付け、生涯にわたって真理を追究する力を育成する。 2 集団や社会の中で互いの個性を尊重し、健全に生活する力を伸ばす。 3 家庭と連携し、持続可能なより良い社会の創生を目指して自己実現を図る志を養う。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (3月31日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> 誓いの言葉、自学自習の記録により、目標を立てて具体的に努力を積み重ねる指導を行っているが、目標の明確化や学習意欲に課題があり、自主学習習慣に個人差がある。 思考力・判断力・表現力を育成するためにスキルコードを開発し、指導と評価を一体的に改善しているが、指導・評価両面において改善途上にある。 	自主学習習慣の確立と学力の向上 授業の改善と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 「自学自習の記録」を用いて生徒の現状を的確に把握する。 PGTプログラムにより、生徒が主体的に活動し、課題に取り組む。 授業・定期考査においてスキルコードを活用し、「知る喜び」を実感させる学習指導を行う。 研修授業でスキルコードを活用し、教科で事後検討会を行って、授業改善を行う。 授業アンケートを学期に2回実施する。 	①「自学自習の記録」による自主学習習慣の状況 ②生徒のレポートの作成 ③授業・定期考査におけるスキルコードの活用状況 ④研修授業の実施結果、検討会の状況 ⑤授業アンケートの改善状況	<ul style="list-style-type: none"> 自学自習の記録は担任が毎日確認し、「1日を振り返って」の欄にコメントを記入した。 夏休みに八千代市「図書館を使った調べる学習コンクール」の研究レポートを作成させ、全作品を応募した。 4日間のSDGsWeekで集中して取り組み、活動内容をまとめてSDGsAWARD2020にエントリーした。 定期考査の全ての問題にはスキルコードを記入し、出題の狙いを生徒に周知できた。 研修授業の指導案にはスキルコードを用いたロードマップを明記し、生徒を主体的で深い学びへ導く過程を可視化した。 授業アンケート結果を踏まえて、授業の改善に尽くした。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 自学自習の記録は、各授業でどのような取り組みをしたかの記録をより充実させる。 「図書館を使った調べる学習コンクール」では、入賞生徒を増やす。 SDGsに対する意識を高める。 スキルコードにより、主体的で深い学びへとさらに授業改善を進める。 研修授業に限らず、普段の授業の指導案でも、スキルコードを用いたロードマップを活用する。 常に授業の改善に心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 秀明の(自学自習について)学習の信頼している点が自学自習の記録である。 自学自習の習慣は付いてきているが、「自学自習の記録」は活用していない。 本人達が意識を持ち行っているのが大事だと思いますが、何事も多方面からの探求は視野を拡げ、意見を深める良い習慣だと思う。 検定テスト→中間考査、検定テスト→期末考査という流れになっているので、勉強する習慣がしっかり身に付き、とても良いと思う。 英検、漢検、数検等検定が多いと本人は言っているが、親としては良いことだと思う。
2	<ul style="list-style-type: none"> 心の学習を中心に、基本的な生活習慣を確立し、自他を尊重し、学校生活をより良くする指導を行っているが、人間関係能力の向上に課題がある。 社会性を高めるために5つの約束を順守する指導を行っているが、インターネット等の影響により規範意識に課題がある。 父母から授かったかけがえない命・身体を互いに大切に指導を行っているが自己管理意識や自己肯定感の低さ等に課題がある。 	心の学習 5つの約束 健全な生活	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を事例に、正しい判断力や思考力を身に付けさせる。 頭髪・身だしなみの指導は、学年ごとに指導する。 いたわり・思いやりの気持ちを醸成させる。 「善いことと悪いこと」「許せることと許せないこと」の区別をきちんと理解させる。 生活アンケートや面談の実施によりいじめの防止に努める。 毎朝の玄関での検温の実施、昼食時の黙食、学校内外でのマスク着用を徹底させる。 	⑥新聞記事の活用状況 ⑦頭髪検査の合格状況 ⑧生徒の人間関係の状況 ⑨「心の学習」の題材に対する「自学自習の記録」の記載内容 ⑩生活アンケート、面談の実施状況 ⑪危機管理マニュアルに基づく各種訓練、新型コロナウイルス感染防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を教員が毎日選んで教室に掲示した。 頭髪検査を学年集会で実施、身だしなみ指導は、毎朝の登校指導時から随時行った。 人間関係のトラブルを早期に捉え、面談等を通して、保護者と協力して解決した。 放送による学校長の訓話の内容について、様々な経験を踏まえ、自らの意見をまとめることができた。 担任との面談を2週間に1回行った。また、生活アンケートは月に1回以上実施した。 マスク着用の徹底等の感染対策を行うことができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事を元にした意見発表、討論まで指導のレベルを引き上げる。 普段からの頭髪服装指導を徹底する。 「いかなるいじめも許さない」という学校の方針を堅持し、指導を継続する。 「心の学習」指導の結果を共有させ、学校生活の向上を自律的に行えるようにする。 2週間に1回以上の面談、月1回以上の生活アンケートを継続する。 昨年度以上に感染対策の徹底を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今世間では何が起り、その事に自分の感情はどう動くのかを意識的にできる時間は、今後重要になるので、有効的に活用していると思う。 社会状況について子供の考えを聞けるとてもいい機会である。心の学習について自宅でのこのような事を考えたと話してくれたので、SNSに振り回される世の中で新聞を活用することは、とてもいいと思う。 携帯電話でニュースを読む子供たちに対して新聞記事の活用は、活字離れた生徒たちに良い刺激を与える機会だと思う。新聞を教材にした事で、自宅でも親子で話し合う時間も増えた。 一人の先生だけではなく、校長先生との面談もあったとの事で、本当に感謝している。担任には、勉強・部活動・生徒同士の問題など色々な場面で話を聞いてもらい相談できて、本当によかった。
3	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と連携し、保護者の立場に立って、有為な社会人としての資質の育成を行っているが、保護者会等への参加率に向上の余地がある。 PGTプログラムを行っているが、進路意識や自己肯定感を高めることに課題がある。 社会貢献の志を高める指導を行っているが、経済優先の風潮の中で、持続可能性を意識した徳心が育っていない。 	家庭との「共育」「協育」 進路意識の向上 持続可能な社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会・三者面談は感染症拡大防止の観点からオンラインを活用することで、学習面や生活面について、話し合いの機会を安全に設ける。 PGTプログラムにより学年に応じたキャリア教育を行う。 被爆体験伝承講話の感想、学校行事の振り返りなどを行う。 全ての学習をSDGsの視点で捉え、地球社会への貢献を意識して活動させる。 ユネスコスクール登録に向けて実践を積み重ねる。 	⑫保護者会、三者面談の状況 ⑬進路希望状況 ⑭感想文を作成 ⑮SDGsの学習活動記録 ⑯ユネスコスクール登録に向けた準備の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの保護者会を2回(6,9月)、三者面談は対面・オンラインの選択式で2回(7,3月)実施し、多数の参加があった。 希望する進路(高校でのコース)が決定した。 全ての学びの記録を1つのファイルにまとめることができた。 校外学習ではSDGsの考え方にに基づき、事前・事後の学習を充実させた。 ユネスコスクール登録に必要な授業実施結果等の提出物を全て揃えることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会には今年度以上の参加を呼びかけ、学校と家庭の「共育」、「協育」を促進させる。 特別進学コースに数多く入れるよう学力を伸ばさせたい。 学習記録の蓄積だけでなく、その活用を促していく。 SDGsに向けて生徒一人ひとりが行動できるよう担任は教科横断的に生徒を指導し、その記録を蓄積する。 	<ul style="list-style-type: none"> 普段の学校生活の様子などが聞けるので、実施できて良かった。 担任面談で学習面・生活面での自分の長所や改善点について教えてもらい、参考になった。よく見てくれて、感謝している。 コロナで学校行事がどんどんキャンセルされる中、みんなで行ったキッズニアは、とても楽しい思い出になった。 SDGsについて、与えられた理念に従うだけでなく、自分で何ができるのかをよく考え、調べていた。これからも色々な方面で考え、仲間との意見交換なども大事にして、2030年までに実現できるように取り組んで欲しい。